

事例番号:340057

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第四部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 34 週 1 日 - 超音波断層法で胎児の心嚢液貯留を認める

妊娠 34 週 3 日 胎児心拍数陣痛図上異常所見なし

妊娠 35 週 2 日 超音波断層法で臍帯動脈 Pulsatility Index 1.8-2.0

妊娠 36 週 2 日 胎児心拍数陣痛図で基線細変動の減少や一過性頻脈の消失、遅発一過性徐脈を認める

妊娠 36 週 3 日 胎児一過性骨髄造血障害および胎児胸水の診断で管理入院

#### 3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

#### 4) 分娩経過

妊娠 36 週 5 日

12:04 胎児心拍数異常の診断で帝王切開により児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:36 週 5 日

(2) 出生時体重:2100g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析: pH 7.28、BE -9.0mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 7 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バグゲ・マスク、チューブ・バグゲ)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 胎児水腫、一過性骨髄異常増殖症、過粘稠症候群

生後 68 日 左下肢の痙性麻痺を疑う症状を認める

(7) 頭部画像所見:

生後 12 日 頭部 CT で右前頭葉に動脈支配域境界領域梗塞、両側の後頭頭頂葉に後大脳動脈領域梗塞を認める

**6) 診療体制等に関する情報**

〈紹介元分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 2 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 5 名、小児科医 3 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 2 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

(1) 脳性麻痺発症の原因は、児に広範な脳梗塞が発症したことによる梗塞性・虚血性の中樞神経障害であると考ええる。

(2) 脳梗塞の原因を特定することは困難であるが、児の血液疾患および分娩前の胎児胎盤循環不全が関与した可能性を否定できない。

(3) 脳梗塞の発症時期を特定することは困難であるが、妊娠 34 週 3 日以降から新生児早期の間に発症したと考える。

**3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)**

1) 妊娠経過

(1) 妊娠中の外来管理は一般的である。

(2) 紹介元分娩機関において、妊娠 34 週 3 日に胎児心嚢液貯留疑いのため当該分娩機関へ紹介としたことは一般的である。

- (3) 当該分娩機関において、妊娠 36 週 2 日の胎児心拍数陣痛図をリアシュアリングと判読したことは一般的ではない。
- (4) 妊娠 36 週 3 日に胎児一過性骨髄造血障害および胎児胸水と診断し管理入院としたこと、および入院中の管理(超音波断層法、ノンストレステスト等)は、いずれも一般的である。

## 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 36 週 5 日に胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、遅発一過性徐脈が認められ緊急帝王切開としたことは一般的である。
- (2) 帝王切開決定から 47 分後に児を娩出したことは一般的である。
- (3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

## 3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 紹介元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

#### (1) 紹介元分娩機関

なし。

#### (2) 当該分娩機関

ア. 「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2020」に則して胎児心拍数陣痛図の判読を習熟することが望まれる。

イ. 胎盤病理組織学検査を実施することが望まれる。

【解説】胎盤病理組織学検査は、胎盤の異常が疑われる場合、また重症の新生児仮死が認められた場合には、原因の解明に寄与することがある。

### 2) 紹介元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

#### (1) 紹介元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期から新生児期に発症する脳梗塞の原因究明を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。